

# 道路製品

# ASUZAC

## Contents

境界ブロック	P.318	プレキャスト街渠柵	P.348
舗装止めブロック	P.327	PG ガッター	P.349
植樹柵	P.329	KJ 側溝	P.351
鉄筋コンクリート L 形	P.329	アールガッター	P.352
国土交通省 L 形	P.330	ラウンドアバウト縁石	P.353
市 L 形ブロック	P.338	ポーソーシール T	P.355
分離帯	P.342	ライン導水ブロック (小型水路内蔵歩車道境界ブロック)	P.357
PL ガッター (プレキャスト L 形側溝)	P.343	自在 R 連続基礎	P.363
PL 用鋼製柵	P.347	ポラウエーブ防草タイプ (大型防草張りブロック)	P.373

ポラウェーブ 防草タイプはのり面へ敷設することで防草対策ができ、道路の視認性や景観性の向上に繋がります。

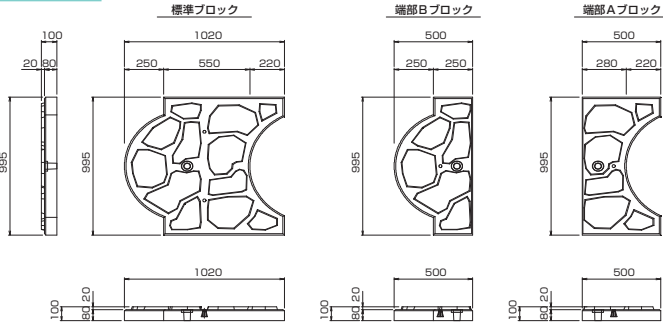


## 特長

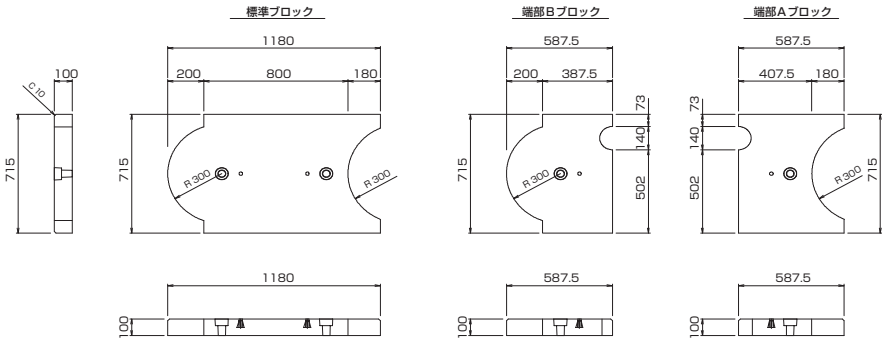
1. R面に追従して、目地処理が不要になります。
2. ポラウェーブなら、現場打ちコンクリートの目地処理が不要となり、製品の陰影紋様が連続して景観性が向上します。
3. 保護路肩部は路肩専用ブロックで施工するため 現場打ちが不要です。
4. 凸Rと凹Rを組み合わせることで、カーブ施工が容易になります。(R15まで可能)
5. 連結鉄筋が不要、アンカーピンによる固定で滑り抵抗を持たせる構造です。

## 製品寸法図

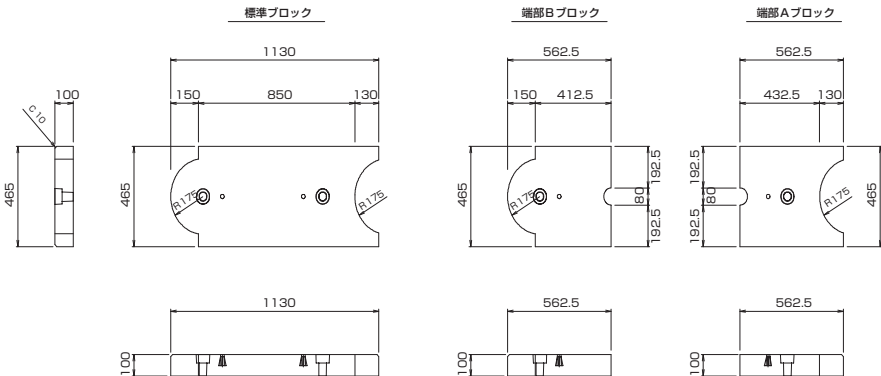
### 法面用



### 法肩用 R750 型



### 法肩用 R500 型



L型擁壁

擁壁

のり面

張出製品

河川製品

ため池

カルバート

バイパス管

マンホール

側溝

道路製品

水路製品

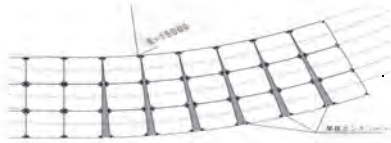
貯留システム

石材

付録

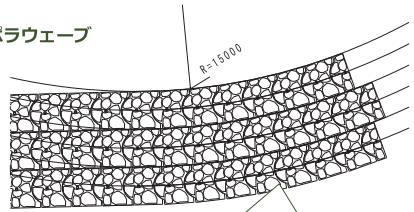
◆ R面に追従いして、目地処理が不要になります！

従来製品



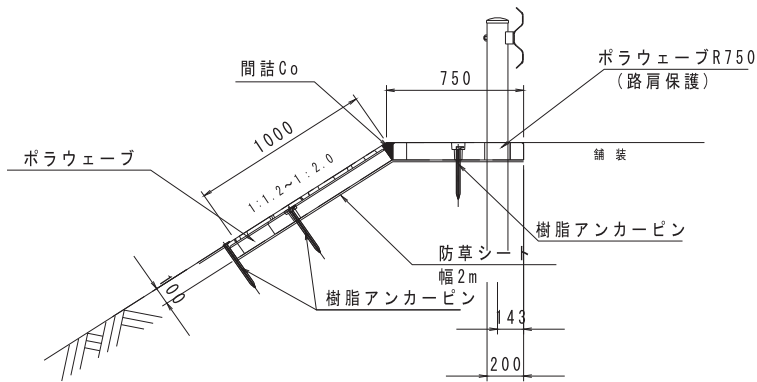
R形状に沿って敷設すると  
コンクリートの目地処理が必要です。

ポラウェブ



R形状に沿って敷設できるので  
目地処理が不要です。

◆ 保護路面及び路肩より 1m の法面部の防草対策！



※断面図は各現場状況により異なります。

施工事例



L型擁壁

擁壁

のり面

張出製品

河川製品

ため池

カルパト

バイシ付管

マンホール

側溝

道路製品

水路製品

貯留システム

石材

付録